

3月のほけんだより

2023年3月1日
ハレルヤ保育園

少しずつ日が長くなり、日中暖かくて気持ちのいい日が増えてきました。感染症予防の為のマスク着用は個人の判断に委ねられていますが、保育園における職員のマスク着用は室内は継続していきます。子どもたちの手洗い、うがいはこれからも継続して、一人ひとりが衛生管理に気をつけながら、1年の締めくくりのこの月を元気に過ごしましょう。

3月3日は耳の日です（もしかしら、耳の病気かも？）

～気を付けたいポイント～

○呼びかけても気がつかない

後ろから呼びかけた時に、ほかの子どもたちは聞こえているのに気づいていない場合や正面から小さな声で話した時に口元を真剣に見つめているようすが見られる場合は、病気の可能性があります。

《疑われる病気→滲出性中耳炎、難聴》

○声が大い

人は、自分が聞いて心地よい大きさの声で話します。子どもが大い声で話す時はそれが自分にとって一番聞きやすいことから、聞こえが悪いことが心配されます。

《疑われる病気→滲出性中耳炎》

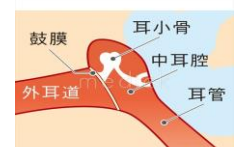
○聞き間違いが多い

何度も聞き返す場合や、聞き間違いが多い場合には聞こえが悪いことが心配されます。

《疑われる病気→滲

○耳だれ、湿疹がある

耳だれや湿疹などで、耳の痛みを訴えている場合には注意します。ただし、慢性中耳炎の場合の耳だれには、痛みはありません。《疑われる病気→中耳炎・外耳炎・外耳道異物》



予防接種の接種もれはありませんか？

3月1日～7日までの7日間は

「子ども予防接種週間」です。



生まれたばかりの赤ちゃんには、お母さんから

免疫物質が移行しています。しかし、お母さんからの免疫の量はだんだん下がり、1歳までにはゼロになります。免疫の量が下がると、さまざまな病気にかかりやすくなります。人が病原体に感染して自分で免疫をつくることは自然なことですが、感染は子どもにとって大きな負担であり、脳炎などの重篤な合併症の危険も伴います。このため、ワクチンで防げる病気「VPD」に関しては、生後2カ月から順次予防接種を行い、子どもたちの命を守っています。

「0歳代は育休中で順調に打っていたのに、1歳以降は職場復帰して忙しくなり、つい忘れる」といった話をよく聞きます。接種忘れがないか、母子手帳の記録をいま一度見返してください。

2月の感染症報告 (2/1～28)

溶連菌感染症	1名
インフルエンザ	3名
ウイルス性胃腸炎	1名

保護者の皆様へ

一年でお子様の成長は目を見張るものがあります。毎月の身体測定も大泣きしていた子が自分から「大きくなったかなあ？」と身長計や体重計に乗る姿を見ると嬉しくなります。一日一日の生活の中で子どもたちは成長し、表情も豊かになっています。

新しく始まる一年もご家庭と連携を取りながら、健やかな成長の為

に取り組んでいきたいと思います。一年間ありがとうございました。新年度もよろしく
お願い致します。

